

2016年7月12日
生活協同組合コープみらい

7月18日(月)から『まちのクールオアシス』活動実施

埼玉県内の21店舗を熱中症対策のために、一時休息所として地域の方に開放

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、7月18日（月）～9月4日（日）までの期間、埼玉県内の21店舗を一時休息所として地域の方に開放し、熱中症予防のためにご利用いただく『まちのクールオアシス』活動を実施します。

『まちのクールオアシス』は、埼玉県と締結した「包括的連携協定※」事業の一環として埼玉県と県内企業が協力して取り組んでいる活動です。コープみらいでは今年で6年目の取り組みとなります。

『まちのクールオアシス』活動では、高齢者や子ども連れの方などが、暑さの厳しい日中に外出した際に熱中症にかかることのないように、店舗を一時的な休息所として提供いたします。店舗内には熱中症の予防を呼びかけるポスターを掲示するほか、イートインスペースのある店舗では塩飴を無料提供いたします。

※2011年7月、埼玉県と「包括的連携協定」を締結し、地産地消、子育て応援や地域福祉、環境保全、障がい者の自立支援など16分野で埼玉県と連携・協同して取り組んでいます。



『まちのクールオアシス』ポスター

●『まちのクールオアシス』概要

実施期間：7月18日（月）～9月4日（日）

内 容： ・熱中症予防のため、下記21店舗を一時休息所として地域の方々に開放
・このうち、イートインや休憩スペース併設の17店舗では、塩飴の無料提供サービス実施

対象店舗：埼玉県内の21店舗

<コープ店（4店舗）>

コープ大宮中川店（さいたま市）、コープ東岩槻店、（さいたま市）、コープ高階店（川越市）、コープ早稲田店（三郷市）

<イートイン併設コープ店（17店舗）>

コープ今泉店（上尾市）、コープニツ宮店（上尾市）、コープ武蔵藤沢店（入間市）、コープ桶川店（桶川市）、コープ春日部店（春日部市）、コープ北本店（北本市）、コープ熊谷店（熊谷市）、コープ北越谷店（越谷市）、コープ上木崎店（さいたま市）、コープ浦和東店（さいたま市）、コープ南浦和店（さいたま市）、コープ武蔵浦和店（さいたま市）、コープ狭山台店（狭山市）、コープ幸町店（志木市）、コープ新所沢店（所沢市）、コープ深谷店（深谷市）、コープみずほ台店（富士見市）

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
【理 事 長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）
【組 合 員 数】329万人（2016年6月20日現在）
【総 事 業 高】3,803億円（2015年度）
【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>